

全国学力・学習状況調査の活用

6年生 全国学力・学習状況調査の活用(月)

教科	国語	算数
結果	86	86.5

9月下旬～10月上旬に実施した数値を記入。

項目は参考です。

1 課題

国語科においては、文章を正確に読み取り、条件に合った文章を書くことができていなかった。引用の際の文章の書き方が定着していない児童がいた。また、文学的文章において長文を読む力、前後の内容を結びつける力に弱い面が見られた。修飾・被修飾の関係も正答率が低かった。算数科においては、図形領域において、式が何を表しているのか、式の答えが何をあらわしているのかを説明する問題において正答率が低かった。また、 $0.75 + 0.9$ は $0.01$ の計算で $0.01$ の何個分かを説明する問題や円柱の展開図において円周と長方形の横の長さの関係が等しいという既習の内容を使う問題に課題が見られた。

2 めざす姿

国語科においては、単元ごとについている手引きの「ことば」を確認し、実際に使えるようにする。児童が叙述と叙述を結びつけることができるような授業を行い、自分の考えをもち、それを伝えたり、友達の意見と比較したり、関係づけたりして考えることができるようにする。算数科においては、「だから」「～なので」等の説明の言葉を使って結論まで述べるようにする。位のそろっていない2つの小数を整数に直すなどの問題を下の学年から積み上げていく。具体物で確かめることをおろそかにせず、実際に操作しながら説明することができるようにする。

3 めざす姿に向けた取組の具体

2学期の取組

国語科では、文学的文章において「問い」を児童自らが立て、その解決に向けて何度も文章を読んだり、叙述と叙述を結びつけながら考えたりすることにより学びを深め、対話的な活動で広げていく。算数科では、「割合」の意味を理解するための系統的な指導や授業作りの工夫を行い、式の意味や答えが何を表しているのかを個人や全体で考えたり確認したりする。また、それを説明する活動を行う。

検証

6年単元末テスト2学期  
90点以上の児童  
国語科86.1%  
算数科82.1%

単元末テストや授業における小テスト等を活用しての検証

3学期の取組

国語科では、文章を正確に読み取り、条件に合った文章を書く。算数科では、正確な数値を出し、結論まで説明することができるように経験を積み重ねていく。

検証

平成31年度全国学力・学習状況調査(過去問)  
国語科2(2)【資料】から言葉や文を取り上げて条件にあった文章を書く。通過率94%  
算数科4(3)時間の求め方と絵を言葉や数を用いて説明する。通過率85.7%  
6年単元末テスト3学期  
90点以上の児童  
国語科86%  
算数科86%  
6年標準学力テスト  
国語科84.5  
算数科87.8

単元末テストや授業における小テスト等を活用しての検証

市学力調査

1年生 市学力調査(12月)

教科	国語	算数
結果 (対全国比%)	85.4 (+13.1)	89.9 (+9.2)

2年生 市学力調査(12月)

教科	国語	算数
結果 (対全国比%)	87.2 (+11.6)	85.8 (+11.9)

3年生 市学力調査(12月)

教科	国語	算数
結果 (対全国比%)	78 (+15.0)	80.3 (+12.3)

4年生 市学力調査(12月)

教科	国語	算数
結果 (対全国比%)	80.2 (+13.7)	79.6 (+16.3)

5年生 市学力調査(12月)

教科	国語	算数
結果 (対全国比%)	77.5 (+10.4)	78.1 (+14.6)